

校長室だより



真岡東中 校長室だより

No. 91

2019/03/19/Tue

修了式まであと3日 小学校卒業式

大明帝国、滅亡 1644年

フランスタゲールが写真機を發明 1839年

東京観光「ほとバス」運行開始1949年

「団地」という言葉が初登場 1956年

チーム東…生徒・家庭・教職員へ向けての校長通信

高め合い、磨き合い、感動し合い、「愛」いっぱいの真岡東中に！

真岡東中学校HPでもご覧いただくことができます

卒業生が来校して語り合う様子を見て…

中学・高校を卒業して来校する卒業生たち…

4月からの新たな生活に希望を膨らませて…

一般選抜：学力検査得点の簡易開示 … 栃木県立高校受検者のうち、学力検査の得点の簡易開示を希望する生徒は、受検先高校において個票の交付を受けることができます。期間は3/13(水)～4/12(金)までの決められた時間内です。卒業した3年生たちは、この簡易開示された個票を持って、連日のように学校を訪れています。校長室にもあいさつに来てくれます。もちろん、合格報告も兼ねて。笑顔で「思ったよりも点数が取れてました！」「〇〇は得意で高得点なんです、□□は苦手なのでちょっと恥ずかしい点数で…」と批評も加えながら、個票を見せてくれます。「でもまた高校で頑張ります！」と4月からの新たな高校生活に希望を膨らませている様子がうかがえます。



高校を卒業した本校の卒業生 … 平成27年度に本校を卒業した生徒は、今月高校を卒業し、その報告に訪れています。私自身も本校にいたときの生徒ですので、懐かしい顔がいっぱいです。18歳の春は、「〇〇大学に進学が決まりました。真岡を離れるので、これから引越しの準備です！」「□□に就職が決まりました。もう社会人の仲間入りです！」「美容師になりたいので専門学校で勉強します！」…同じ進路先の卒業生は、ほとんどいませんでした。それが「18歳の春」です。恩師と久しぶりに再会し、将来のことや思い出話に花を咲かせています。昨年度の卒業生も近況報告に来ることもあり、和やかな雰囲気が職員室いっぱいに広がります。本校の教師は「生涯の師」…そのことを改めて実感します。



暑さ寒さも彼岸まで…今度こそ「春本番」に

冬から春に季節が進む時期は寒さと暖かさを繰り返すため「三寒四温」と呼ばれていますが、「春の天気は『ふる・ふく・どん』」という表現もあります。それは、この時期の天気が『雨が降る』『風が吹く』『曇天』を繰り返すためです。日本の春は低気圧や高気圧が短い周期で通過します。気温の変化が大きく、天気も変わりやすくなりますので、体調管理には注意していきましょう。

さて「暑さ寒さも彼岸まで」とは、よく言ったもので、明後日は「春分の日」です。

◇「春分の日」=3月21日(木)◇…太陽は地球の赤道の真上を運行するように見えます。太陽は真東から出て真西に沈み、昼夜の長さはほぼ等しくなります(秋分も同じ)。この日を前後に昼の長さが夜の時間より長くなっていきます。「彼岸の中日」とも呼ばれ、この日を真ん中にした計7日間が彼岸です。彼岸は仏教に由来し、おはぎや団子等を作って仏壇に供えたり先祖の墓参りをしたりします。

この日以降は本格的な春を迎え、学校では新年度へ向けて教室の掲示物はずしたり大掃除をしたり…そして桜が咲く頃、君たちはいよいよ新学年のスタート！

進級へ向かって確かなステップを！…②

これから4月にかけて、今までの学習内容の総復習をする時期です。3/6(水)の実力テストは出題範囲が広がったために「どんな勉強すればいいのですか？」という質問があったそうです。これからの学習でもそうですが、必ずしも新しい問題集や参考書などを買う必要はありません。例えば、次にあげるようなものをテキストにして復習してみるのもよいでしょう。

電子黒板を使って
生徒が発表



- ①中間・期末の定期テスト(年5回)、実力テスト(年3回)、単元テスト等
→きちんとファイルしておけば立派なテキスト
- ②各教科で購入してある問題集・ワークブック・プリント類
- ③夏休み等、長期休業中に使用した課題テキスト、「春休みの課題」
- ④教科書の各単元のまとめや練習問題、章末問題など



発表をしっかりと聴くことも大切

勉強法などについては、教科によって差異がある場合もありますので、各教科の先生にもよく聞いて、アドバイスをしてもらおうとよいと思います。

さて、この1年の学習態度や学習の仕方、自主学習、テストへの取組はどうだったでしょうか？この反省をもとに、自分の学習法を見直してみると良いでしょう。

各々が進級へ向けての心構えをしっかりともち、学習・部活動の両面で大きく成長してほしい…そこで、次に、**学習と部活動の両立を目指すためのアドバイス**をしていきます。今までの自分を振り返って改善点を真剣に考えて、学力アップへつなげていくことを期待しています。

◆学力が伸びる3つの工夫！◆

1 数学と英語の土台を1・2年生のうちに！…どんなに忙しくても1・2年生のあいだに数学と英語は毎日必ず勉強する習慣を身に付けておきましょう。

この2教科は階段みたいなどころがあり、1年生の部分が分からなければ2・3年生の勉強についていけません。コツコツ積み上げなければ実力はつきません。この数学と英語の力がついていれば3年生の夏の大会(総体)以後、おもしろいように学力が伸びてきます。

問題は国語力なのですが、これは日頃の読書量や「足あと」の日記がものをいいます。付け焼き刃の勉強ではうまくいかないところがあります。一つの方法として、朝の読書や、教科書、テスト、あるいは新聞や通信を読むにしても、文章をていねいに読む習慣を付けるのです。春休みには大いに読書しましょう！

2 調べる・質問する→理解→問題解決へという勉強システムを…

「この生徒の実力からすると、こんな数学の問題すぐに解けちゃうだろうな～」と思われるような計算を自主学習ノートにいっぱいやって、そして自己採点して○つけて×がない…。これを2時間やっても、あまり実力はつきません。

できなかった問題、つまり×の問題を調べたり質問したりして理解し、そして○にしていく！この勉強システムを確立して学力アップを図りましょう！

3 部活の時は部活に熱中し、勉強中は勉強だけに集中する…当たり前のことですが、このようなことを実行することが大切で、これをはっきり区別しましょう。

部活動中に勉強のことを心配せず、また勉強中に部活動のことで気を散らさないことです。勉強の最大の敵は、勉強に関係のないことがあれやこれやと頭の中をチラチラすることです。頭の中をすっきり整理して、勉強に部活動にがんばりましょう！